



『頻度について考える：精神分析と精神療法の共存』

精神分析と精神療法の異同について、これまでさまざまな議論がなされてきました。頻度は、両者を区別しようとする際にしばしば取り上げられるものです。精神分析は週4-5回といった高い頻度のセッションで特徴づけられますが、頻度のもつ意義は、表面上の数字を超えて、その背景にある治療プロセスについての考えと密接に関連しています。今回のLecture Dayでは、頻度について改めて考えます。精神分析と精神療法の共存の問題を考える上で、頻度についての本質的な議論は欠かせません。日本精神分析協会の3人の精神分析家各々の考えをお話しいたします。精神分析に関心のある方および精神療法に関心のある方の双方にとって、それぞれの特徴についての理解を深めることのできるような企画となっております。今回は、オンライン開催となっております。多くの皆様の御参加をお待ちしています。

日 時：2024年4月14日（日）

時 間：12：00～16：00

場 所：オンライン（Zoom）

参加人数：100名

対 象 者：心理臨床家、精神科、心療内科等精神保健に関する臨床経験をお持ちの方、
その他守秘義務を保持される方。

参 加 費：4000円

プログラム

司 会、Opening Remarks：吾妻壮

講義 1.（12：00～12：50）

『精神分析と精神療法の頻度について考える』

講師：岡田暁宜

講義 2.（12：55～13：45）

『柔軟性の原理（Alexander）再考』

講師：妙木浩之

講義 1, 2 についての指定討論：原田康平（13：45～14：00）

フロアとの全体討論（14：00～14：15）

——休憩 15 分間——14：15～14：30

講義 3.（14：30～15：20）

『精神療法の「強度」のスペクトラム』

講師：岡野憲一郎

講義 3 についての指定討論：原田康平（15：20～15：35）

フロアとの全体討論（15：35～16：00）

Closing Remarks：吾妻壮

申込方法：日本精神分析協会事務局まで、fax または電子メールでお申し込み下さい。

Fax：03-3350-9749 Email：tokyo@jpas.jp

申込期限：2024年4月11日（木）

日本精神分析協会 LECTURE DAY

参加申し込み書

本参加申込書は4月11日(木)までE-mail、FAXまたは郵便にてお送り下さい。
E-mailでのお申込みは、件名を「第10回LECTURE DAY申し込み」として、以下の項目を本文にお書き頂くか、申込書を添付して下さい。

日本精神分析協会事務局

E-mail : tokyo@jpas.jp Fax : 03-3350-9749

氏名	フリガナ	女性 ・ 男性
連絡先 (自宅・勤務先)	〒 —	
TEL/FAX	/	
E-mail		
勤務先 (職種)		
参加費：4000円 ※先着順に受け付けます。参加の可否については受付後順次連絡先住所、または申込書に記載のメールアドレスにご連絡いたします。その際振込先のご案内もいたします。参加が決まりましたら、Zoomのご案内をいたします。		

※申込書に記載の個人情報は、セミナーのご連絡、ご案内の他には使用いたしません。